

平成 26 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 藤原 正明
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート本部シニアディレクター 清田 圭一
(TEL. 03-6383-3746)

インフルエンザウイルスに対する抗体作製に関するお知らせ

当社のビジョンであるパンデミック感染症対応を目的とした研究開発において、複数のインフルエンザウイルス抗原(不活化抗原のため感染リスク無し)に対する抗体作製プロジェクトを実施いたしましたところ、抗体の作製に成功いたしましたので、お知らせいたします。

本抗体作製プロジェクトでは、オリジナル ADLib®システムを用い、弱毒型、強毒型インフルエンザの部分タンパク抗原それぞれに対し反応性を示す抗体作製を短期間で実現いたしました。この手法により、ウイルスに対して薬効を持つ抗体を短期間で取得する可能性が開けました。

ADLib®システムの特徴は、「抗体取得の多様性」と「短期間での抗体取得」ですが、今回の成果により、ウイルスのタンパクに対する短期間での抗体作製能力も示されたものと考えております。また、当社では現在、完全ヒト ADLib®システムの多様性を向上させる研究開発に取り組んでおりますが、今回のオリジナル ADLib®システムでの抗体作製の知見を取り込み、完全ヒト ADLib®システムの付加価値もさらに向上させる予定です。

当社のビジョンを実現するため、ADLib®システムによる抗体作製プロジェクトを継続して行うことが、当社の企業価値の向上や社会への貢献に寄与すると考えており、今後も同領域での研究開発活動を継続して参ります。

なお、本件による通期業績への影響は軽微であります。

【完全ヒト ADLib®システムについて】

DT40 細胞のもつニワトリ抗体の遺伝子の主要部分をヒト抗体の遺伝子に置き換えることで、最初からヒトの抗体を作り出すことが可能な ADLib®システム(完全ヒト ADLib®システム)です。

【オリジナル ADLib®システムについて】

ニワトリ細胞をもとにして作製された細胞株である DT40 細胞のもつ抗体遺伝子の組換えを活性化することによって、抗体タンパクの多様性を増大させ、特定の抗原を固定した磁気ビーズで特異的抗体を産生する細胞をつり上げる仕組みです。理化学研究所で開発された技術で、当社はその独占的な実施権を保有しております。既存の方法に比べ、迅速性に優れていること及び従来困難であった抗体取得が可能であること等の点に特徴があると考えております。

以上